

ひかりの記憶・手ざわりのむこう — 三輪途道・籾内佐斗司・山田修3人展

# 東大寺福祉事業団支援 チャリティ公演会

## 「鯰しづめ」

Co-GIGAKU

2026年7月5日(日)

13:00より受付・13:30より入場可能

開演 14:00 終演 16:00

対談：狭川普文・籾内佐斗司／落語(鹿坊)：桂 吉坊

創做伎楽「鯰しづめ」伎楽面：籾内佐斗司

音楽：東野珠実／台本：桂 吉坊／子役指導：惺雲

出演：大鯰・茂山千三郎、茂山郁馬／演者：Co-GIGAKUの子

狂言回し：桂 吉坊／楽人：東野珠実、中村香奈子、

鈴木絵理、伊藤光波子

チケット代：前売り 3,000円、当日 3,500円

主催：(一社)メノキ／共催：(有)籾内佐斗司工房、

Co-GIGAKU実行委員会／協力：(株)尾花、(株)ジンス、

奈良県立大学、奈良県立美術館、(一社)日本寺子屋協会



## 東大寺総合文化センター内 金鐘ホール

〒630-8208 奈良県奈良市水門町100番地

東大寺総合文化センター：JR大和路線・近鉄奈良線「奈良駅」から

市内循環バス「大仏殿春日大社前」下車徒歩5分

(チケットの売り上げは経費の一部を除き東大寺福祉事業団に寄付します)

お問い合わせ：一般社団法人メノキ

e-mail: info@menoki.org

Tel/Fax: 0274-67-5992 事務局: 080-6645-1779

## 「菩提僊那を語る」

浪曲 真山隼人

2026年7月11日(土)

13:00より受付・13:30より入場可能

開演 14:00 終演 16:00

浪曲：真山隼人

曲師：沢村さくら

奉納者：南悦子

チケット代：前売り 3,000円、当日 3,500円

主催：(一社)メノキ

協力：(株)ジンス、奈良県立大学、

奈良県立美術館



# 東大寺福祉事業団支援 チャリティ公演会

2026年7月5日(日) Co-GIGAKU 「鯰しづめ」



東野珠実



桂吉坊



簀内佐斗司

遠く飛鳥の時代、聖徳太子が少年たちを集め伝習させたと言われる古代芸能・伎楽。大阪関西万博を機に始動したCo-GIGAKUプロジェクトで、子ども達とともに幻の古代芸能・伎楽の再興創作に挑戦し、第一作「鯰しづめ」という作品が誕生しました。この作品は台本：桂 吉坊、音楽：東野珠実による書き下ろし、そして正倉院他でお蔵入り

している伎楽面が「せんとかん」でお馴染みの簀内佐斗司先生の復元によって生き生きとした姿に蘇り、大鯰・小鯰とともに舞台上で躍動します。地震大国日本において、鯰は地震の象徴とされましたが、これを「しづめる」という言葉には、自然との共生や調和を重んずる心が反映されています。聖徳太子由来とも言えるこの精神をこそ世界に発すべき美德といえましょう。本物の面や装束、楽器の響きにときめき、舞台上で輝く子どもたちの姿に、誰もが心を躍らせ、希望を見出します。

2026年7月11日(土) 浪曲 真山隼人「菩提僊那を語る」



真山隼人



沢村さくら

真山隼人氏は、子どもの頃から浪曲好きで中学卒業後にすぐ入門。めきめきと腕を上げ、17歳でNHK 東西浪曲大会に初出演(十代での出場は史上初)。その後も精進を重ね、埋もれた外題の復活や現代名作の作品化にも果敢に取り組む。その業績は、浪曲ファンの裾野を広げ、この芸能の未来を明るくしている。そんな真山は、節よし啖呵巧みな、若手中の当代一浪曲師と評価されている。そして、彼を支えるのは、やはり当代一の曲師、沢村さくら。この三味線があってこそ、隼人の活躍。

二人三脚で全国の観客を魅了。さて、この度の外題は、「菩提僊那伝」。東大寺様に、東大寺建立の四人の功労者を描いた「四聖の御影」がある。四聖とは、大仏建立を発願した聖武天皇、実質の開山の良弁僧正、大仏造立の勸進である行基上人、大仏開眼供養の導師の菩提僊那である。それぞれ、歴史や伝説、説話で語られることも多い。願わくば、この浪曲を通して、山を越え海を渡りはるばる本朝においでくださった菩提様の徳が広がり、人々の心に記されますよう、祈念する。

## 展覧会

ひかりの記憶・手ざわりのむこう——

三輪途道・簀内佐斗司・山田修3人展

日時：2026年7月4日(土) — 7月12日(日)  
9:00~17:00(最終日の12日は16:00まで)

会場：東大寺総合文化センター内 会議室A

観覧料：無料

## イベント

ひかりの記憶・手ざわりのむこう——

アーティスト・トーク

日時：2026年7月4日(土) 14:00~15:30

会場：東大寺総合文化センター内 会議室A  
(予約不要、先着30名、無料)

出演：三輪途道、簀内佐斗司、山田修

チケット申込書(FAX用) 送り先番号: **0274-67-5992** \*読みやすいように楷書で はっきりお書きください

チケットの販売は6月1日より開始します。全席自由席・未就学児入場可

お問い合わせ：事務局 080-6645-1779 \*メールでもお申し込みいただけます。宛先 info@menoki.org

お名前

住所

連絡先 TEL

E-mail:

ご希望の公演(どちらかに丸をつけてください)

**A** 7月5日 Co-GIGAKU

**B** 7月11日 浪曲

ご希望枚数

枚

合計金額

円

●チケットはFAX、メールで申し込まれた後、主催者から確認のご連絡をさせていただきます。その時整理番号をお伝えさせていただきます。料金は以下の口座にお振込みをお願いします。但し口座への振込は6月30日までで、それ以降の方は当日受付で清算させていただきます。

## チケット代振込先

ゆうちょ銀行からの振り込み  
記号 10470 番号 34898421  
口座名 シャ)メノキ(一般社団法人メノキ)

他銀行からの振込 ゆうちょ銀行(9900) 店番 048 店名 O四八  
普通口座 3489842  
口座名 シャ)メノキ(一般社団法人メノキ)

チケットは、公演当日受付にてお渡しいたします。受付でお名前と整理番号をお伝えください。  
かたてのおと・ふれるひかり—文化財の3D模造で障害者と共に鑑賞の形を作るプロジェクト

# ひかりの記憶・手ざわりのむこう

## 三輪途道・藪内佐斗司・山田修3人展

東大寺総合文化センター内 会議室 A

観覧料 無料

〒630-8208 奈良県奈良市水門町 100番地

共催：奈良県立大学、一般社団法人メノキ

助成：公益財団法人三菱UFJ 信託地域文化財団

協力：(株)ジンズ、奈良県立美術館

2026 **7.4** Sat — **12** Sun

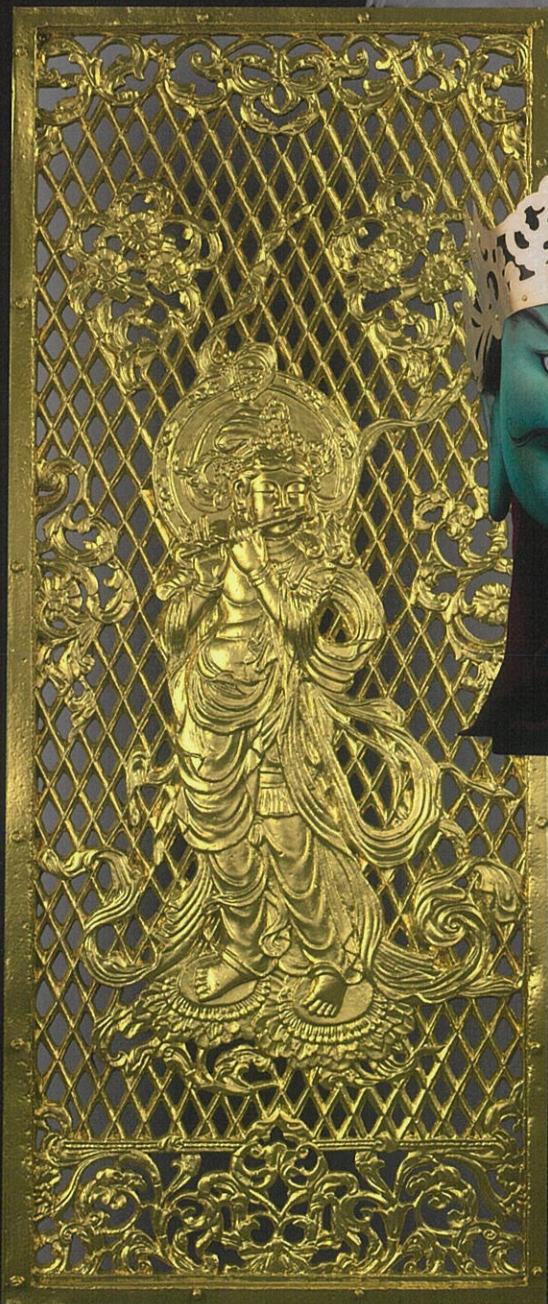
9:00 — 17:00 (最終日 16:00まで)

アーティスト・トーク [三輪途道、藪内佐斗司、山田修]

7月4日(土) 14:00-15:30 (予約不要・先着30名)

会場：東大寺総合文化センター内 会議室 A

この三輪途道作「光明観音像」の本体は奈良県立美術館で  
同時期に展示されます。この東大寺での展示では  
縮小した触れるための3D模造が展示されます。  
これら2つを体験することで  
触察の意味が深まります。



### 関連イベント

東大寺福祉事業団支援 チャリティ公演会

会場：東大寺総合文化センター内 金鐘ホール

※チケットの売り上げは経費の一部を除き東大寺福祉事業団に寄付します。

### Co-GIGAKU「鯨しづめ」

7月5日(日) 13:00受付 14:00開演

伎楽面：藪内佐斗司／音楽：東野珠実／台本：桂 吉坊

子役指導：榎雲／出演：大鯨・茂山千三郎、茂山郁馬

演者：Co-GIGAKUの子／狂言回し：桂 吉坊

楽人：東野珠実、中村香奈子、鈴木絵理、伊藤光波子

主催：(一社)メノキ

共催：(有)藪内佐斗司工房、Co-GIGAKU実行委員会

協力：(株)尾花、(株)ジンズ、奈良県立大学、

奈良県立美術館、(一社)日本寺子屋協会

チケット代：前売り 3,000円、当日 3,500円(販売は6月1日より)

### 浪曲 真山隼人「菩提僊那を語る」

7月11日(土) 13:00受付 14:00開演

浪曲：真山隼人／曲師：沢村さくら／奉納者：南悦子

主催：(一社)メノキ

協力：(株)ジンズ、奈良県立大学、奈良県立美術館

チケット代：前売り 3,000円、当日 3,500円(販売は6月1日より)

お問い合わせ：一般社団法人メノキ

e-mail: info@menoki.org

Tel/Fax: 0274-67-5992

事務局：080-6645-1779

会場へのアクセス：

JR大和路線・近鉄奈良線「奈良駅」から

市内循環バス「大仏殿春日大社前」下車徒歩5分

# ひかりの記憶・手ざわりのむこう——

## 三輪途道・藪内佐斗司・山田修3人展

本展覧会は、全盲の彫刻家・三輪途道、彫刻家・藪内佐斗司、研究者・山田修による触れる彫刻および文化財の3D模造を紹介する展覧会です。

展覧会では、三輪の彫刻作品《光の存在—光明観音》(2026)を、3Dデータを使って模造をした「光明皇后3D模造」をはじめ、縮尺模造「東大寺 金銅八角燈籠羽目板(音声菩薩)」(2026)や縮尺模造「東大寺鐘楼梵鐘」(2026)などの文化財を3D模造とすることで、触れることが出来る美術作品および文化財の複製品を展示しています。これらは、触れることをとおして、文化財を身近に感じ、理解の裾野を広げることを目指し、デジタル技術を活用した研究の成果を紹介するものです。

またあわせて、全盲の彫刻家・三輪の、手の感覚だけで制作した彫刻作品、藪内の仮面舞踏集団「平成伎楽団」のオリジナルの伎楽面や古の伎楽面の模造作品など、触れて鑑賞する作品を展示しています。触覚とは、形を理解するうえで極めて優れたインターフェースです。「たなごころ」から伝わる手ざわりやぬくもりは、未知の対象に対する不安をやわらげ、好奇心と安心感をもたらします。本展では、日本の祈りの形に触れながら障害のあるなしを越えて鑑賞するには何が必要かを一緒に考えます。歴史と記憶が幾層にも折り重なるこの地において、アナログとデジタルの邂逅が、これまでにない鑑賞のかたちをもたらすことでしょう。



### 三輪途道 Michiyo MIWA

1966年 群馬県に生まれる。1994年 東京藝術大学大学院美術研究科保存修復技術専攻修了。修了制作では東大寺俊乘堂重源上人像を模刻、東大寺に寄贈。2002年大仏開眼1250年慶讃法要事業で東大寺の依頼により菩提僊那像を制作。仏像制作の技術を生かし、作家の日常を木彫で表現。土着性を重んじ自分の足元を掘り下げることを制作の核とする。病のため50代前半に全盲となる。現在は触覚のみで制作を続け、「ふれて鑑賞する」展覧会を各地で開催。一般社団法人メノキを設立し、障害とアートをつなぐ活動も手がける。2024年「ヒューマンビューイング—藤野天光、北村西望から三輪途道のさわれる彫刻まで」群馬県立館林美術館、2025年「はじまりの感覚展」アーツ前橋。2025年「みること、つくること、つながること『Museum Startあいうえの』12年と現在地」東京都美術館。



### 藪内佐斗司 Satoshi YABUUCHI

1953年大阪生まれ。東京藝術大学および大学院で彫刻を学び、同大学保存修復技術研究室で仏像の古典技法と保存修復の研究に従事した。その経験を基に檜や漆、顔料などを用いた独自の制作技法を確立し、1987年に彫刻家として独立。代表的なキャラクター「童子」を通して、森羅万象に宿る生命の根源や仏教的・アニミズム的世界観を表現している。木彫のほかブロンズによる屋外彫刻やマルチプル作品も制作し、「Art For The Public」と呼ぶ公共空間への作品設置は全国約100か所に及ぶ。2010年の平城遷都1300年祭では公式キャラクター「せんとかん」をデザインし、仮面舞踏集団「平成伎楽団」を結成するなど活動の幅を広げた。現在は東京藝術大学名誉教授、堺名誉大使、奈良県立美術館館長、奈良県立大学客員教授、ビューティ&ウエルネス専門職大学副学長。



### 山田修 Osamu YAMADA

1973年群馬県生まれ。1999年東京藝術大学大学院美術研究科保存修復技術専攻修了。岡村印刷工業株式会社に勤務後、東京藝術大学にて3Dデータを活用した文化財の調査研究に従事。東京藝術大学特任教授を経て現在奈良県立大学教授。文化財を身近に感じることを目指した3Dデータの配信事業やさわれる文化財の制作を行っており、2023年「奈良に宿る『文化の記録』と『記憶の継承』」(奈良県立美術館)、「すごいぞ!レプリカ〜文化財を未来に伝える〜」(なら歴史芸術文化村)、2024年「さわる」(なら歴史芸術文化村)などで発表。

## 連携企画

奈良ゆかりの現代作家展

### ふれる光 三輪途道

2026年6月27日(土)~8月23日(日)

奈良県立美術館ギャラリー

開館時間: 9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日: 月曜日(但し、7/20は開館)、7/21(火)

観覧料: 無料

主催: 奈良県立美術館 / 助成: 一般財団法人地域創造

協力: 奈良県立大学、株式会社ジズ、一般社団法人メノキ